



無断転載・複製禁止

# 秋田県観光DMPLレポート

秋田県観光戦略課  
2025.6 - 2025.8 夏季分析

# 秋田県観光DMPレポートについて

2025.6 - 2025.8 夏季分析編

## データで描く、秋田の宿の未来地図

これまで宿泊業の経営は、長年の「経験」と「勘」に支えられてきました。しかし、旅行者のニーズが多様化し、予約のデジタル化が進む現代において、「データ」という客観的な羅針盤を持つことは、経営の安定と収益の最大化に不可欠です。本レポートは、県が運用する「秋田県観光DMP」の膨大なデータから、皆様の明日の集客・単価アップ・業務効率化に直結するヒントを抽出したものです。

## 本レポートを支える「3つのデータエンジン」



### 旅行者データ 分析システム

「関心」の所在を知る  
旅行前：何に興味を持ち、何を調べているか

- 県公式HP「アキタファン」PV
- SNS（Facebook等）反応数
- 検索キーワード分析



### 広域データ 分析システム

「移動」の実態を知る  
旅行中：どこから来て、どこへ移動したか

- エリア別 来訪者数
- 来訪者の居住地分析
- 人気立ち寄りスポット



### 宿泊データ 分析システム

「予約」の構造を知る  
結果：いつ、誰が、いくらで宿泊したか

- 日別宿泊者数トレンド
- 予約リードタイム
- 客単価・旅行形態

## ▼ 3つのデータを統合・分析 ▼

秋田県観光DMPレポート（宿泊事業者様向け 経営支援資料）

# 本レポートの歩き方

データの見方と経営への活かし方

## 第1部：集客 の入り口 (関心・動態 データ)

旅行前～旅行中の動きを分析。「誰に」「何を」アピールすべきかが見えます。

1 **Web・SNSデータ (PV数・人気投稿)**  
●**ネタ作り**：「今、何が検索されているか」を知り、自社SNSの発信内容を調整する。(例:夏祭り情報の検索増→会場へのアクセスを訴求)



2 **来訪者数・居住地 (GPS動態)**  
●**ターゲット選定**：自分のエリアには「どの県」から人が来ているかを知り、Web広告の配信地域を絞り込む。

3 **人気立ち寄りスポット**  
●**周遊提案**：顧客が「他にどこに寄っているか」を知り、その施設と連携したプランや、モデルコースの提案を行う。

### 💡 活用イメージ

「Webデータで『夏の秋田』の検索が増えているから、関東からの来訪者向けに『竿燈・花火』の周辺情報や『涼』を感じるスポットをSNSにアップしよう！」

## 第2部：収益 の最大化 (宿泊実績デ ータ)

実際に予約に至った結果を深掘り。販売管理（レベニューマネジメント）の核心です。

4 **宿泊統計・稼働率 (観光庁統計)**  
●**立ち位置確認**：県全体の平均と自社を比較し、「市場全体が悪いのか、自社だけが悪いのか」を客観視する。

5 **日別宿泊者傾向 (需要の波)**  
●**シフト管理**：混雑日は「高単価・人員増」、閑散日は「販促強化・人員調整」を行う。



6 **居住地別 宿泊傾向 (近隣/遠方)**  
●**プラン造成**：近隣県利用が多いなら「直前割・ドライブ」、遠方なら「早割・交通セット」など、距離に応じたプランを作る。

7 **予約時期 (リードタイム)**  
●**販売タイミング**：「いつ予約が入るか」を知り、早割の終了時期や直前割の開始時期を最適化する。

8 **単価層別 傾向 (価格受容性)**  
●**適正価格**：エリアの相場観を知り、「安売りしすぎしていないか」「高すぎて選ばれていないか」を見直す。

9 **旅行形態別 (ソロ/家族/グループ)**  
●**商品造成**：一人客が多いなら「夕食・晩酌セット」、ファミリーなら「子供料金設定」など、客層に合った商品を作る。

## 1. 居住地別 Webアクセス状況

(県公式ウェブサイトアキタファン閲覧実績)

📌 **分析コメント**： 関東からのアクセスは微減(-4%)となりましたが、依然として最大のシェアを誇ります。特筆すべきは「関西・中国・四国」エリアからの急激な伸び(+73%)です。西日本エリアでの認知拡大や、航空便利利用促進のキャンペーン効果等が推測されます。

関東		440,605	-4%
関西・中国・四国		123,006	+73%
秋田県(県内)		108,868	+14%
東北(県外)		97,464	+55%
北海道		73,365	+40%
中部		71,526	+46%
九州・沖縄		18,370	+41%

## 2. サイト別 アクセス数ランキング

📌 **分析コメント**： 県公式「アキタファン」が好調(+14%)で全体を牽引。また、「旅するかづの」が前年比+49%と大幅な伸びを見せています。一方で、「秋田犬ツーリズム」は-33%と大きく減少しており、要因分析とテコ入れが必要です。

アキタファン		917,894	+14%
田沢湖角館観光協会		484,555	+10%
男鹿なび		235,557	-8%
旅するかづの		85,344	+49%
秋田犬ツーリズム		24,276	-33%
横手市観光推進機構		12,143	+9%
VISIT SHIRAKAMI		7,962	-6%

## 3. SNSトレンド（Facebook人気投稿）

（県公式Facebookあきたビジョンの閲覧実績）

💡 **分析コメント**：今夏は「自然体験・避暑（森吉山、川原の湯っこ）」と「キャラクター・鉄道（クレヨンしんちゃん×内陸線）」の2大テーマが強い反応を得ました。「見るだけ」の観光より、「乗る・掘る・歩く」といった\*\*体験性のあるコンテンツ\*\*がリーチを伸ばしています。

1

投稿日：6/27

【大自然をパノラマ展望！～森吉山阿仁スキー場～】気軽にトレッキング👣できる場所としておすすめしたいのが北秋田市の森吉山阿仁スキー場🏔️ 6月7日からゴンドラ営業開始！

👁️ リーチ：11,636 #自然・絶景

2

投稿日：7/12

【クレヨンしんちゃんラッピング列車～🚂🌟】秋田内陸線で一緒に笑顔の旅へ出発進行！父・ひろしの出身地は秋田県というご縁でコラボ中！

👁️ リーチ：10,755 #コラボ・鉄道

3

投稿日：8/8

【クレヨンしんちゃんが沿線にやってくる！】8月30日にしんちゃんが遊びに来てくれることになりました！秋田犬コスチュームで登場予定。

👁️ リーチ：9,681 #イベント

4

投稿日：6/22

【川原の湯っこをご存知ですか？🏔️🔥】役内川の河原をスコップで掘って、自分だけのオリジナル足湯が作れるワイルドな温泉体験！

👁️ リーチ：9,117 #体験・温泉

## 4. データ活用アドバイス

### 💡 体験型コンテンツの訴求強化

リーチ数上位の「川原の湯っこ（足湯作り）」や「森吉山トレッキング」のように、ユニークな体験やアクティビティはSNSで好反応です。具体的な「体験の様子」が伝わる写真や動画を積極的に発信しましょう。

### 💡 キャラクターコラボの活用

「クレヨンしんちゃん」関連の投稿が上位にランクインしました。知名度のあるIPとのコラボは、普段観光情報に触れない層へのリーチに極めて有効です。イベント開催時のリアルタイム発信も強化推奨です。

### 💡 「アキタファン」閲覧者へのターゲット広告

閲覧実績で上位を占める「東京都」「神奈川県」に加え、増加傾向にある「宮城県」をターゲットとしたWeb広告配信を推奨します。特に宮城県向けには「近場での週末リフレッシュ」等の訴求が有効と考えられます。

県内総延べ来訪者数（3ヶ月計）

2,275万人

前年同期比 92.1% (▼7.9%)

最高伸長エリア（居住地別）

中部地方

前年同期比 +9.7%

エリア別 健闘エリア

大仙・美郷

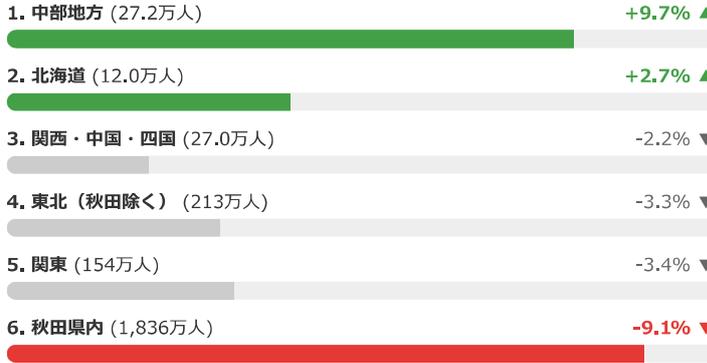
減少率最小 (▼1%) で維持

## 2. エリア別来訪者数 前年比ヒートマップ

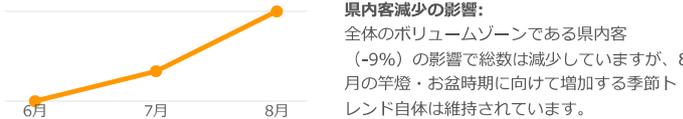
※地理的位置関係をイメージした配置図。赤色が濃いほど減少幅が大きいことを示す。



## 3. 居住地別 伸び率ランキング



## 月別来訪者数推移 (夏期トレンド)



## 4. 【東北客】人気スポット Top 5

順位	スポット名	来訪者数	前年比
1	秋田駅	141万人	▼12%
2	秋田竿燈まつり会場	77.6万人	▼13%
3	秋田市立千秋美術館	50.6万人	▼6%
4	秋田県立美術館	44.7万人	▼15%
5	天然温泉ホテルこまち	39.7万人	▼5%

※主要スポットはいずれも前年割れ。物価高や猛暑による近隣県からの日帰り・短期滞在需要の減退が影響している可能性があります。

## 5. 【関東客】人気スポット Top 5

順位	スポット名	来訪者数	前年比
1	秋田駅	14.7万人	▼1%
2	鹿角花輪駅	12.7万人	▼6%
3	鹿角観光ふるさと館「あんたらあ」	8.9万人	▼10%
4	秋田市立千秋美術館	6.0万人	+20%
5	大曲駅	3.8万人	+6%

※「千秋美術館」が20%増と急伸。「屋内・文化体験」へのシフトや、特定の企画展効果が推測されます。大曲駅の増加は花火大会等のイベント需要の復調を示唆しています。

## 6. 観光事業者様への具体的アクション提言

## 【好調】「アート×避暑」の訴求 (関東・中部客)

関東客において「千秋美術館」が前年比+20%と突出して伸びています。猛暑を避け、涼しい屋内で質の高い文化体験をする需要が高まっています。美術館周辺のカフェやランチとセットにした「涼み旅」プランの造成が有効です。

## 【課題】秋田・南秋エリアの回復

最大のボリュームゾーンである秋田・南秋エリアが-10%と苦戦しています。県内客・東北客の「いつもの場所」離れを防ぐため、商業施設や駅周辺での新規イベントや、地元客向けのお得な「再発見クーポン」等の即効性ある施策が求められます。

## 【健闘】大仙・美郷エリアの維持モデル

他エリアが軒並み5~10%減となる中、大仙・美郷エリアは-1%とほぼ前年並みを維持しています。花火大会などの強力なコンテンツに加え、日常的な観光流動が底堅い証拠です。このエリアの成功事例（情報発信や受入体制）を他地域へ横展開しましょう。

## 【ターゲット】中部・北海道との連携

中部 (+9.7%) と北海道 (+2.7%) は引き続き好調です。航空便やフェリーの動線を活かし、これら遠方客向けの「長期滞在特典」や「レンタカー乗り捨てプラン」など、広域周遊を前提とした高付加価値商品を強化すべきです。

# 宿泊旅行統計・客室稼働率

データ出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」（速報値を含む）

2025.6 - 2025.8 (夏季)

夏期 延べ宿泊者数 合計

89.1 万人泊

昨年比 ▲3.2% ↓

(R6同期: 92.1万人泊)

最も伸びた月

7月

昨年比 +7.6%

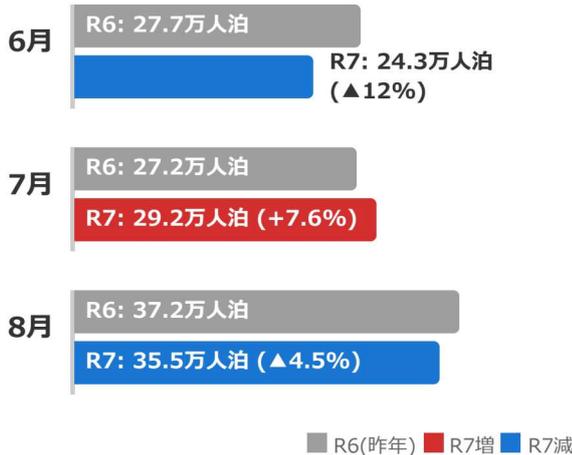
(6月・8月は前年割れ)

注目すべき変化

リゾート稼働率 **上昇**

全体宿泊数 **減少**

## 月別 延べ宿泊者数 (前年R6 vs R7比較)



## 施設タイプ別 稼働率変化 (夏期平均)

施設タイプ	R6	R7	差
リゾートホテル	50%	56%	↑
唯一の好調。3ヶ月連続プラス			
ビジネスホテル	79%	75%	↓
高水準だが前年割れ			
旅館	42%	43%	→
横ばいで推移			
シティホテル	59%	58%	↓
簡易宿所	20%	11%	↓
需要が大幅に減少			

## 分析レポート&アドバイス

### 1. 8月のピークダウンへの対策

7月は前年比増(+7.6%)でしたが、稼ぎ時の8月が減少(▲4.5%)し、全体を押し下げました。ビジネスホテルも8月は前年比6ポイント減です。来期は8月の価格戦略の見直しや、直前予約を取り込むプロモーションが必要です。

### 2. 「リゾートホテル」の一人勝ち

全体的に苦戦する中、リゾートホテルのみ6~8月の全期間で前年を上回りました(稼働率50%→56%)。「体験価値」や「高付加価値プラン」が選ばれている証拠です。他業態も、単なる宿泊以外の価値提案が急務です。

### 3. 簡易宿所の需要消失

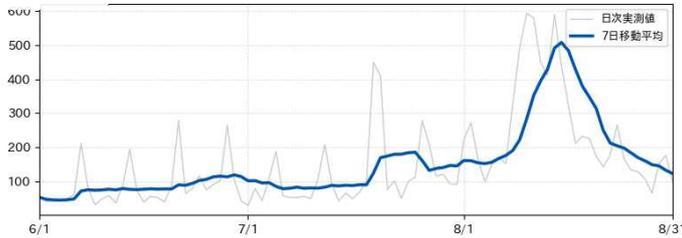
簡易宿所の稼働率が20%から11%へ半減しています。既存のターゲット層(バックパッカー等)が減少している可能性があります。長期滞在プランや、貸切利用への転換など、抜本的なターゲット変更を検討すべき時期です。

# 日別宿泊傾向（需要の波）

対象期間：2025年6月1日～8月31日 | 出典：宿泊データ分析システム

【凡例】 灰色線：日次実測値 / 青太線：7日移動平均（トレンド）

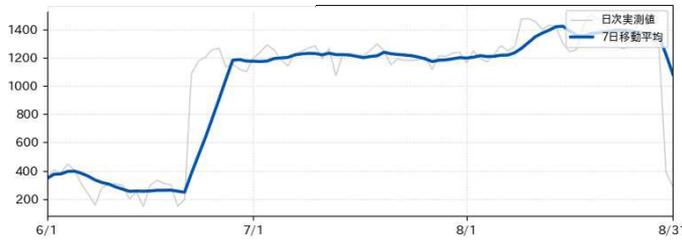
## 1 鹿角エリア 要推移



### 【分析メモ】

8月のお盆時期（8/10頃）に向けて明確な上昇トレンドを描いています。6月の閑散期対策として、早めの夏予約促進キャンペーンや、十和田湖・八幡平の初夏アクティビティ訴求が有効です。

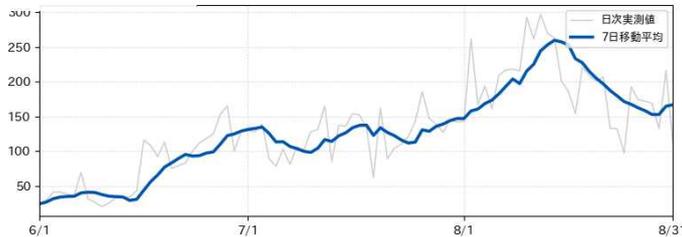
## 2 大館・北秋田・小坂エリア



### 【分析メモ】

8月後半に大きな山が見られます。大文字焼きや花火大会等のイベント需要に加え、帰省客のUターン需要も取り込んでいる可能性があります。連泊プランの強化が推奨されます。

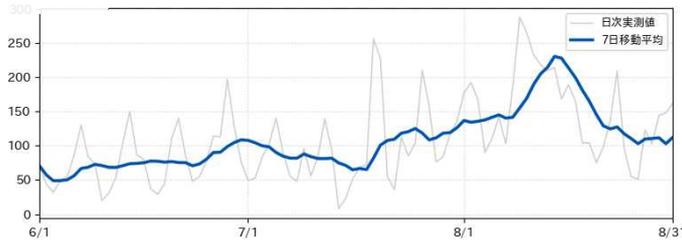
## 3 能代・山本エリア



### 【分析メモ】

全体的に安定していますが、8月中旬に特需が発生しています。役七夕や花火などの夏祭り需要に加え、白神山地への観光拠点としての役割を強化することで、平日のベースアップが期待できます。

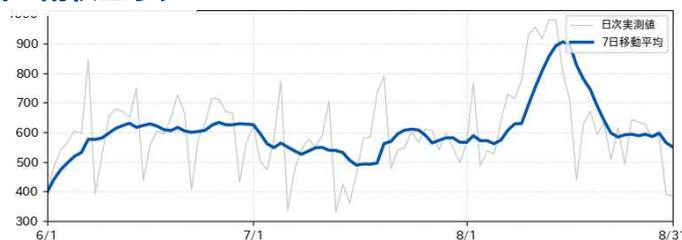
## 4 男鹿エリア 要推移



### 【分析メモ】

夏休み期間に入る7月後半から稼働が上がり、8月上旬にピークを迎えます。男鹿日本海花火や海水浴需要が牽引。ファミリー層向けの滞在プランや、水族館との連携強化がカギとなります。

## 5 秋田・南秋エリア



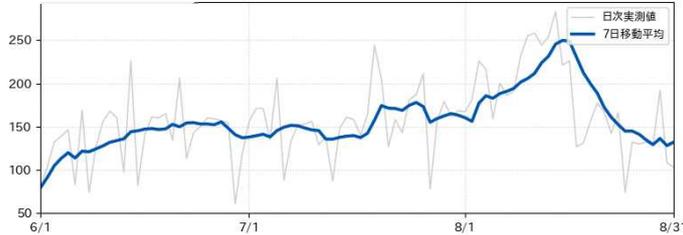
### 【分析メモ】

8月上旬の竿燈まつり期間からお盆にかけて最大需要が発生。県内最大のボリュームゾーンであり、ビジネスと観光の両方が高稼働。6-7月の早期予約獲得で単価アップを狙うべきです。

# 日別宿泊傾向（需要の波）

対象期間：2025年6月1日～8月31日 | 出典：宿泊データ分析システム

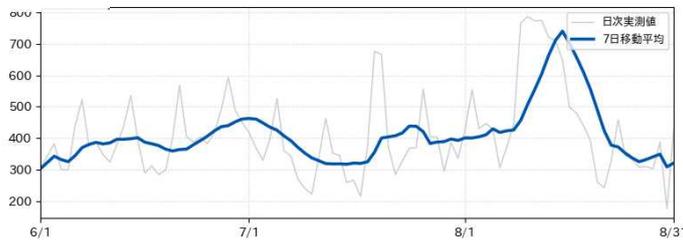
## 6 大仙・美郷エリア



### 【分析メモ】

8月中旬から下旬にかけて需要が集中。特に「大曲の花火」開催日に向けた予約動向が顕著です。花火大会前後の宿泊需要を周辺エリアへ分散させる周遊提案も、機会損失防止に有効です。

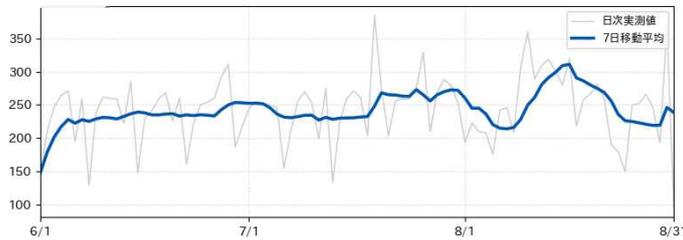
## 7 仙北エリア 夏推移



### 【分析メモ】

田沢湖・角館という強力な観光資源により、8月中旬を中心に高い山を作っています。新緑から夏にかけてのアクティビティ需要も強く、インバウンド客の取り込みも順調に推移しています。

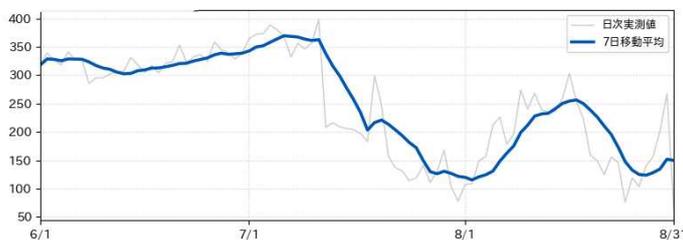
## 8 横手エリア 夏推移



### 【分析メモ】

7月中旬にピークがあり、その後は横ばいで推移しています。増田の内蔵やまんが美術館など、通年型コンテンツの強みが出ています。夏後半のテコ入れとして食イベント等が有効でしょう。

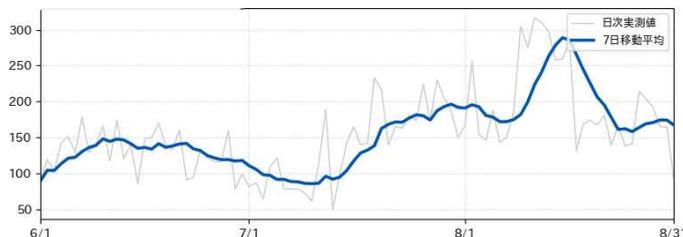
## 9 湯沢・雄勝エリア



### 【分析メモ】

7月前半に需要の山があり、8月にかけては落ち着く傾向です。小安峡などの涼を求める観光客に対し、8月の残暑時期に向けた避暑プランや七夕絵どうろうまつりの訴求強化が必要です。

## 10 由利・にかほエリア



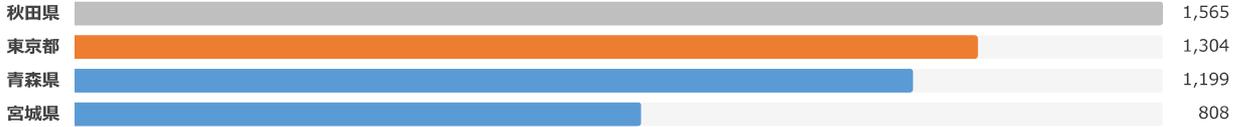
### 【分析メモ】

6月から徐々に上昇し、8月の山の日にピークを迎えます。鳥海山登山やキャンプ需要が好調。アウトドア層に向けた早朝出発対応や、地産食材のBBQプランなどが満足度を高めます。

■ 県内 ■ 近隣（東北） ■ 遠方（関東他）

### 1. 鹿角エリア

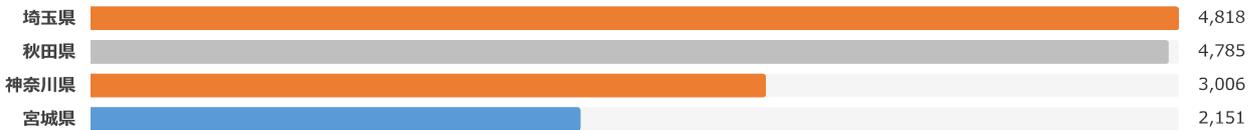
特徴：北東北・帰省型



**POINT** 県内利用がトップだが、東京都が2位に入り、青森・宮城を上回っている。お盆の帰省や夏山観光での関東圏からの流入が顕著。広域周遊の拠点としての情報発信が有効。

### 2. 大館・北秋田・小坂エリア

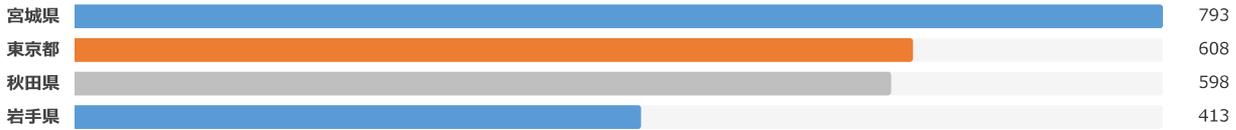
特徴：特定地域集中型



**POINT** 埼玉県・神奈川県からの宿泊数が非常に多く、県内需要と拮抗している。スポーツ合宿や特定の団体需要が推測されるため、受け入れ体制の強化やリピーター化施策が重要。

### 3. 能代・山本エリア

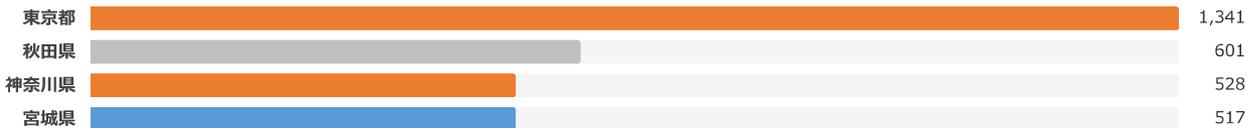
特徴：宮城・県内型



**POINT** 宮城県が1位、次いで東京、県内と続く。白神山地などのアウトドア資源が県外客を惹きつけている。仙台圏・首都圏に向けた「涼しい夏のアクティビティ」訴求が効果的。

### 4. 男鹿エリア

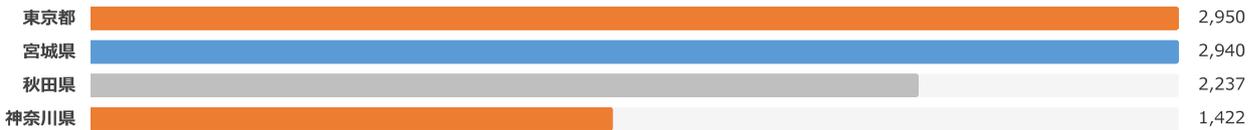
特徴：首都圏レジャー型



**POINT** 東京都が断トツの1位。海水浴やキャンプなど夏のレジャー需要で首都圏からの支持が高い。県内客の倍以上の東京客が訪れており、広域からの集客に成功しているモデルケース。

### 5. 秋田・南秋エリア

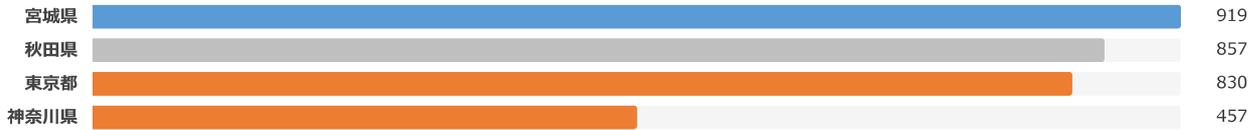
特徴：都市型バランス



**POINT** 東京と宮城がほぼ同数で1位・2位を占める。竿燈まつり等による首都圏・近隣県からの集客力が強い。ビジネス・観光双方の需要を取り込み、夏期の稼働を牽引している。

### 6. 大仙・美郷エリア

特徴：宮城・関東併用



**POINT** 宮城・秋田・東京が僅差で並ぶ激戦区。花火大会需要で東京客も多いが、日常的には宮城からのアクセスが良い。近隣・遠方双方に向けたアプローチが必要なエリア。

### 7. 仙北エリア（田沢湖・角館）

特徴：首都圏独占型



**POINT** 上位4都県すべてが首都圏（東京・神奈川・埼玉・千葉）で占められる極めて特徴的なエリア。新幹線アクセスの良さと観光ブランド力が、遠方客を強力に惹きつけている。

### 8. 横手エリア

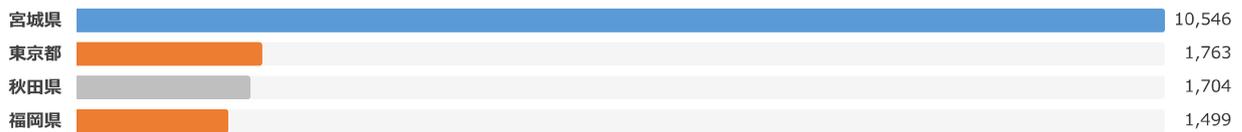
特徴：近隣・帰省型



**POINT** 宮城県が1位、青森県が3位と、東北内での交流が盛ん。東京都もランクインしており、お盆の帰省需要と近隣からの観光需要がミックスされた構成になっている。

### 9. 湯沢・雄勝エリア

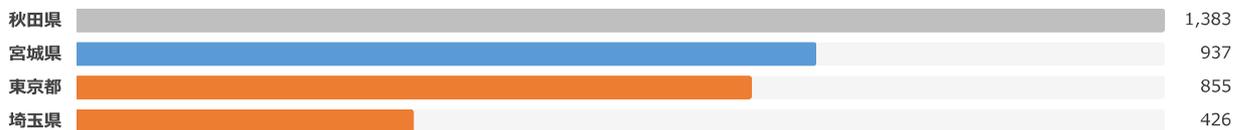
特徴：宮城圧倒・イベント型



**POINT** 宮城県からの宿泊数が1万泊を超え、他を圧倒している。また福岡県が4位に入るなど、特定の大型イベントや大会等による特需の影響が色濃く出ている。

### 10. 由利・にかほエリア

特徴：県内・宮城周遊型



**POINT** 県内利用が最多だが、宮城・東京も多い。鳥海山や海水浴など、夏のアクティビティが県内外の客を呼んでいる。隣接する山形県（データ上は下位だが）との周遊連携も鍵。

#### 【総括：2025年夏期】

全体として「東京都」および「宮城県」からの宿泊数が非常に多い。特に仙北エリアの関東圏独占や、湯沢エリアでの宮城県からの大量流入など、エリアごとに明確なターゲットの違いが見られる。夏期はこれら特定地域からの強い需要をベースに、周辺エリアへの周遊を促す施策が重要となる。

# 宿泊予約時期（リードタイム）

対象期間：2025年6月1日～2025年8月31日

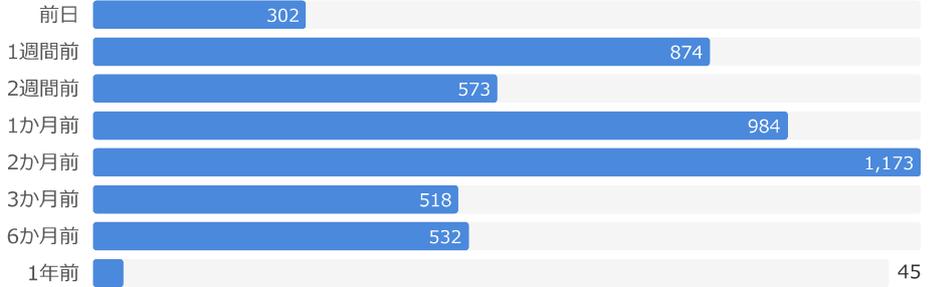
出展：宿泊データ分析システム

秋田県内10エリアにおける宿泊予約のタイミング（リードタイム）を集計しました。  
※グラフは傾向を把握しやすくするため、予約時期が不明なデータを除外した実数ベースで作成しています。  
各エリアの予約のピーク時期を把握し、早期予約プランの造成や直前割の配信など、時期に応じた対策にご活用ください。

## 1. 鹿角エリア

### 🔦 一コマモ

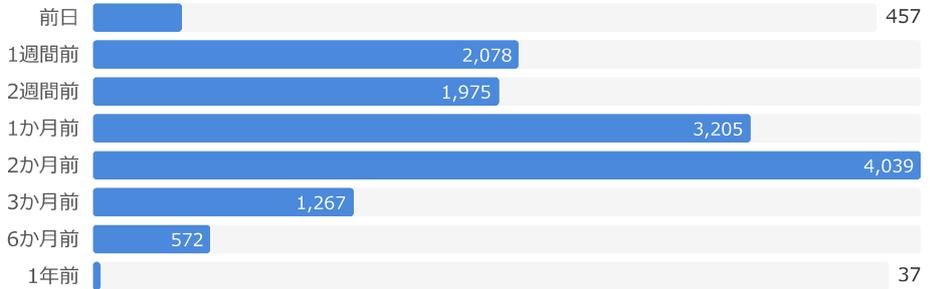
【早期・直前の二極化】  
2か月前がピークですが、1週間前の直前需要も非常に高くなっています。早期割引に加え、夏休みの直前需要を取り込むプランが効果的です。



## 2. 大館・北秋田・小坂エリア

### 🔦 一コマモ

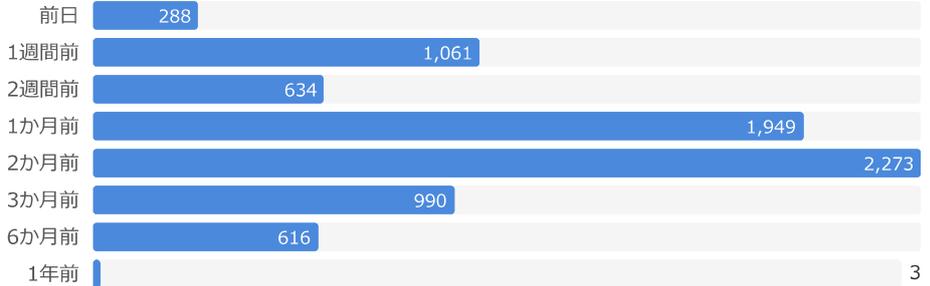
【1～2か月前の需要が圧倒的】  
1～2か月前の予約数が突出しています。この時期に予約サイトでの露出を最大化させることが、夏の集客成功の鍵となります。



## 3. 能代・山本エリア

### 🔦 一コマモ

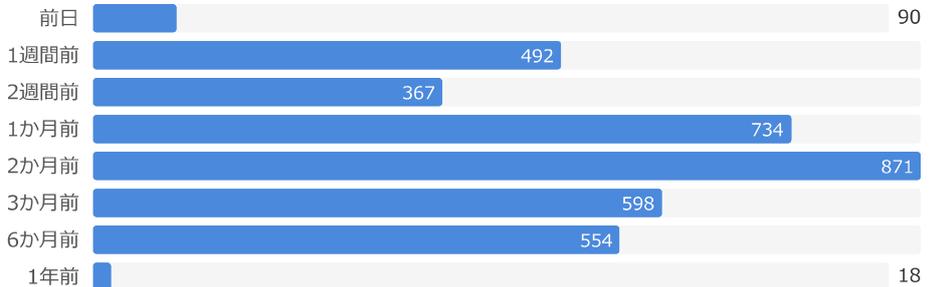
【計画的な旅行者が中心】  
2か月前の予約が最も多く、次いで1か月前です。夏のレジャー計画が具体化する梅雨前の時期から、積極的な情報発信が推奨されます。



## 4. 男鹿エリア

### 🔦 一コマモ

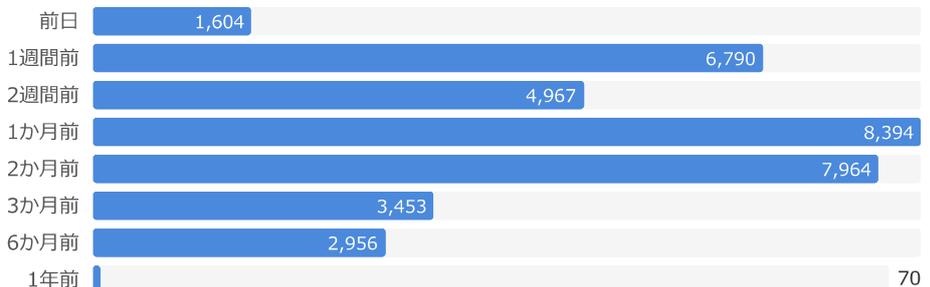
【長期・分散型の予約傾向】  
2か月前をピークに、3～6か月前の早期予約も安定して入っています。男鹿の夏イベント等に合わせ、早めのプラン造成が有効です。



## 5. 秋田・南秋エリア

### 🔦 一コマモ

【巨大な直前需要マーケット】  
1か月前が最多ですが、1週間前の需要も約6,800件と極めて多いです。竿燈まつり等の需要を見据え、直前まで在庫管理を徹底しましょう。



# 宿泊予約時期（リードタイム）

対象期間：2025年6月1日～2025年8月31日

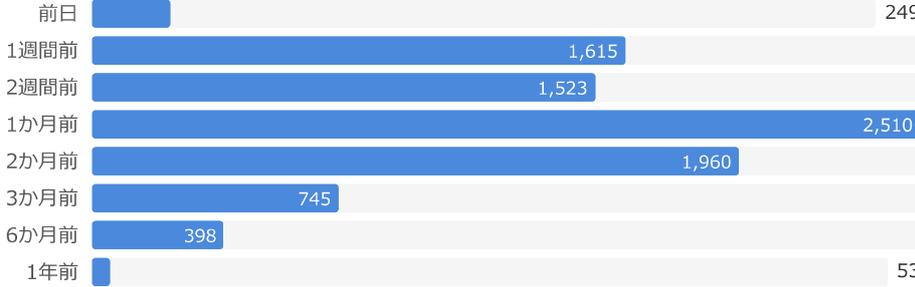
出展：宿泊データ分析システム

(2ページ目) 県南・由利エリアのデータです。  
エリアごとの予約特性（早期型・直前型・バランス型）に合わせて、販促のタイミングを調整することが重要です。

## 6. 大仙・美郷エリア

### 📌 ーロメモ

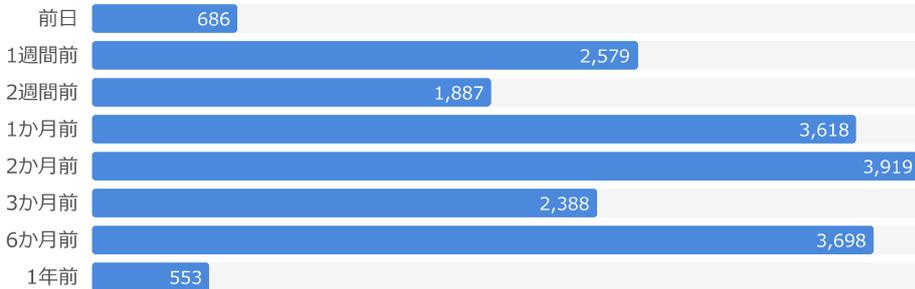
【1か月前と1週間前がポイント】  
1か月前の予約が中心ですが、大曲の花火等の影響か、1週間前の駆け込み需要も旺盛です。イベント残室の告知タイミングが重要です。



## 7. 仙北エリア

### 📌 ーロメモ

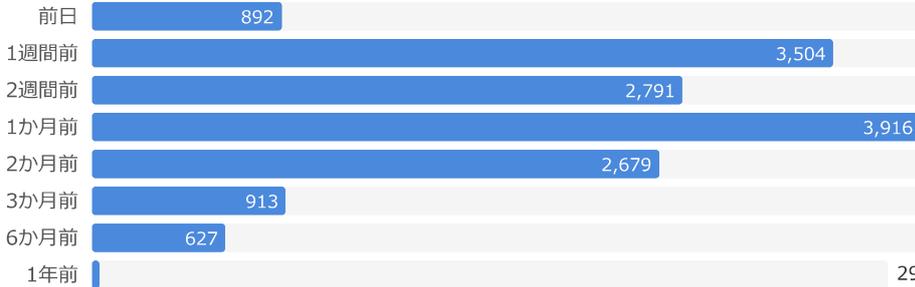
【超早期予約が特徴】  
2か月前に加え、6か月前の予約が約3,700件と非常に多いのが特徴です。半年以上前から夏の販売準備を整えることが必須のエリアです。



## 8. 横手エリア

### 📌 ーロメモ

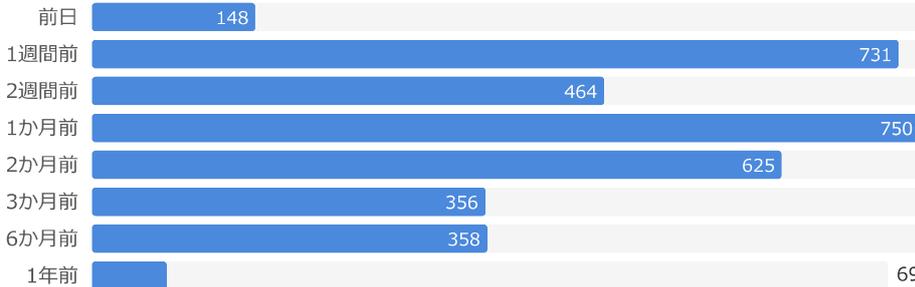
【直前需要への対応がカギ】  
1か月前がピークですが、1週間前の予約もそれに迫る勢いです。間際まで予約が入るため、直前割やSNSでの空室告知が効果を発揮します。



## 9. 湯沢・雄勝エリア

### 📌 ーロメモ

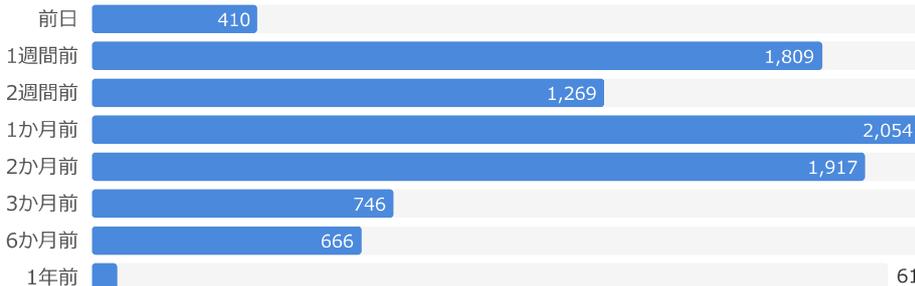
【1か月前と1週間前の双璧】  
1か月前と1週間前の予約数がほぼ同数でピークとなっています。早期予約層と直前の小旅行層、両方をターゲットにしたプラン展開が必要です。



## 10. 由利・にかほエリア

### 📌 ーロメモ

【バランスの良い需要分布】  
1か月前を筆頭に、2か月前、1週間前とバランスよく予約が入っています。海水浴や登山など夏の目的別に、幅広い時期にアプローチ可能です。



# 単価層別傾向（価格受容性）レポート

対象期間：2025年6月1日～2025年8月31日

出典：宿泊データ分析システム

## ■ グラフ配色の見方（価格帯の傾向）

■ 9,999円以下：ビジネス・手軽（素泊まり・朝食付等）

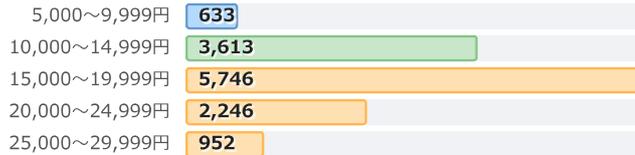
■ 10,000～14,999円：標準（2食付きスタンダード等）

■ 15,000円以上：高付加価値（特別室・体験付等）

### 鹿角エリア

#### 【一コマメモ】

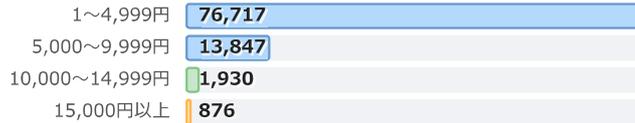
1.5～2万円の高単価層が最大ボリュームという非常に強いエリア特性があります。8月の「花輪ばやし」や、十和田・八幡平の涼しい高原リゾート滞在を訴求し、連泊による更なる単価アップも狙えます。



### 大館・北秋田・小坂エリア

#### 【一コマメモ】

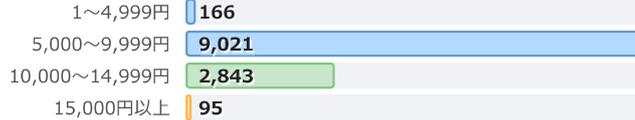
5千円未満が圧倒的多数です。大館樹海ドームのスポーツ合宿やビジネス需要がベースにあると推測されます。夏場は森吉山のハイキング客等に対し、比内地鶏など「食」のオプションで単価向上を図るのが鍵です。



### 能代・山本エリア

#### 【一コマメモ】

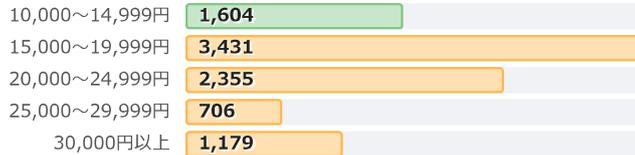
5千～1万円が中心です。8月の「能代七夕 天空の不夜城」や、世界遺産・白神山地（十二湖）へのエコツーリズム需要が高まります。ガイド付きツアー等を絡めた体験型プランで付加価値を高めましょう。



### 男鹿エリア

#### 【一コマメモ】

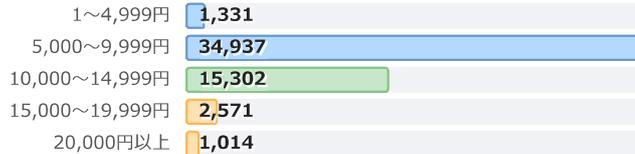
1.5～2.5万円の高価格帯が非常に好調です。夏の男鹿は海水浴、GAO水族館、男鹿ナマハゲロックフェス等、強力なコンテンツが揃います。ファミリー層に向けた高満足度の海鮮・体験プランが収益を牽引します。



### 秋田・南秋エリア

#### 【一コマメモ】

5千～1万円が最大ですが、1万円台も一定数あります。8月上旬の「竿燈まつり」期間は特異日として高単価が見込めます。ビジネス客に加え、夏のポータタワーセリオンや美術館巡りなどの文化観光も提案可能です。



# 単価層別傾向（価格受容性）レポート

対象期間：2025年6月1日～2025年8月31日

出典：宿泊データ分析システム

## ■ グラフ配色の見方（価格帯の傾向）

■ 1～9,999円：ビジネス・手軽（素泊まり・朝食付等）

■ 10,000～14,999円：標準（2食付きスタンダード等）

■ 15,000円以上：高付加価値（特別室・体験付等）

## 大仙・美郷エリア

### 【一ロメモ】

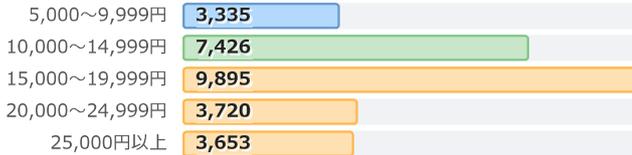
5千～1万円が中心です。最大の目玉は8月末の「大曲の花火」。この時期は爆発的な需要があります。それ以外の期間は、美郷町の湧水群散策や酒蔵巡りなど、涼を感じる夏旅プランで滞在価値を高めるのが有効です。



## 仙北エリア

### 【一ロメモ】

1.5～2万円が最大ですが、高価格帯全体が厚いリゾート型です。田沢湖でのサップ・カヌー等のウォーターアクティビティや角館の深緑、乳頭温泉郷など、夏でもインバウンドや富裕層に強いコンテンツが豊富です。



## 横手エリア

### 【一ロメモ】

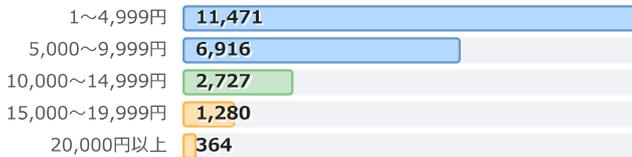
5千～1万円の層が圧倒的です。増田の内蔵（ひんやりとした感めぐり）や、まんが美術館など屋内観光も強みです。名物「横手やきそば」や夏野菜・果物狩りなど、食をフックにしたファミリー向けプランが推奨されます。



## 湯沢・雄勝エリア

### 【一ロメモ】

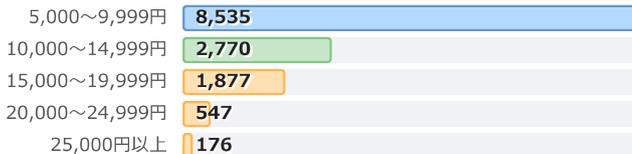
5千円未満が最多で、手軽な利用が中心です。8月の「七夕絵どうろうまつり」は幻想的で誘客力があります。また、小安峡大噴湯などのジオパーク資源は夏の新緑シーズンに映えるため、自然散策プランが有効です。



## 由利・にかほエリア

### 【一ロメモ】

5千～1万円が主力ですが、1万円台前半や後半も一定数あります。夏は「鳥海山」の登山シーズンであり、象潟の「岩ガキ」も旬を迎えます。登山客向けの弁当付プランや、旬の岩ガキを売りにした食プランが効果的です。

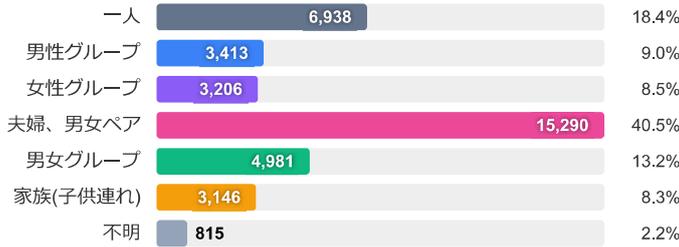


# 旅行形態別宿泊傾向

対象期間：2025年6月1日～2025年8月31日

エリア：県北・県央エリア

## 鹿角エリア

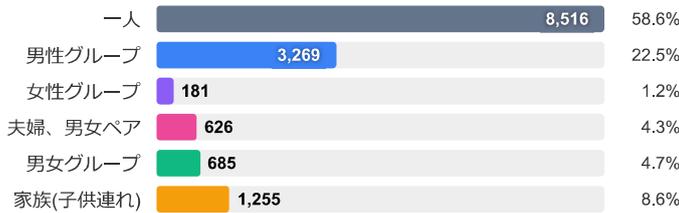


総宿泊者数: 37,789人

### 一コマメモ

「夫婦・ペア」が1.5万人超と突出しており、夏の十和田・八幡平エリアへの避暑・ドライブ需要が極めて高いことが伺えます。夫婦向けの涼感プランや、トレッキング後の食事・休憩提案が有効です。

## 大館・北秋田・小坂

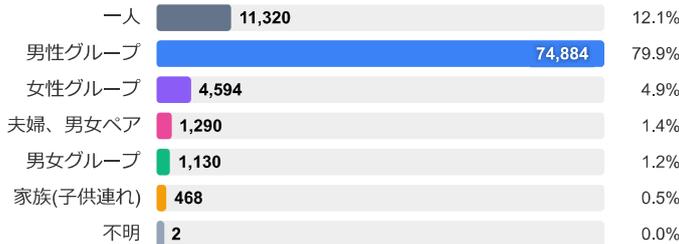


総宿泊者数: 14,532人

### 一コマメモ

「一人」利用が圧倒的多数を占め、夏のビジネス需要が堅調です。一方でお盆期間の帰省需要等も推測されます。秋田犬の里など、お一人様でも立ち寄りやすい観光スポットとの連携が鍵です。

## 能代・山本エリア

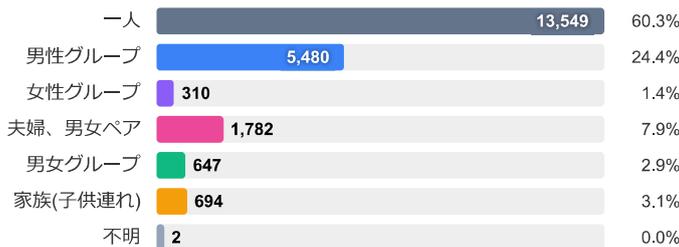


総宿泊者数: 93,688人

### 一コマメモ

「男性グループ」が約7.5万人と桁違いの数値を記録。洋上風力発電等の大規模工事による長期滞在需要、または夏のスポーツ合宿需要と推測されます。大浴場の稼働調整やスタミナ料理の提供が満足度を高めます。

## 男鹿エリア

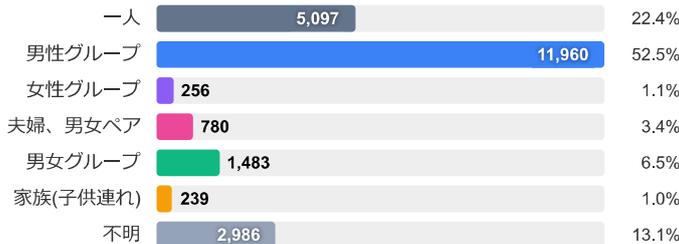


総宿泊者数: 22,464人

### 一コマメモ

冬とは傾向が異なり「一人」利用が最多、次いで「男性グループ」が多くなっています。夏の釣り客やツーリング、キャンプ需要を取り込んでいる可能性があります。お一人様向け海鮮夕食プランの強化を。

## 秋田・南秋田エリア



総宿泊者数: 22,801人

### 一コマメモ

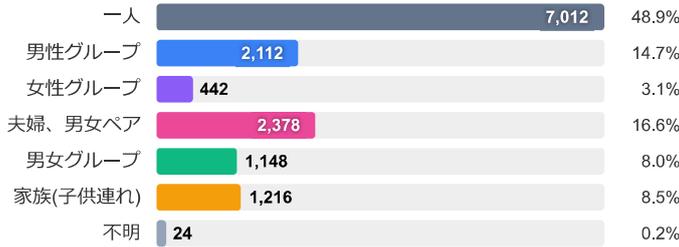
「男性グループ」の割合が高く、竿燈まつり等のイベントやコンベンション需要が反映されている可能性があります。グループでの二次会需要に応える飲食店マップの配布や、早朝出発への対応が推奨されます。

# 旅行形態別宿泊傾向

対象期間：2025年6月1日～2025年8月31日

エリア：県南・由利エリア

## 大仙・美郷エリア

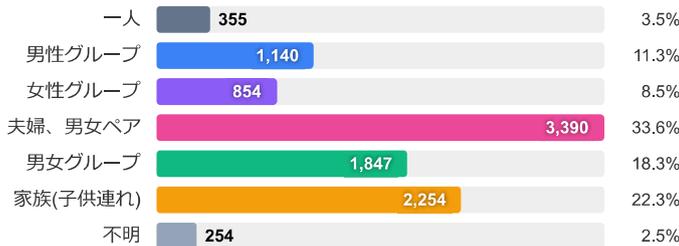


総宿泊者数: 14,332人

### 一〇メモ

「一人」利用が主軸ですが、大曲の花火（月例・全国大会）に関連した観覧・撮影需要も考えられます。機材のケアや、深夜・早朝の変則的なチェックイン/アウトに対応できる体制を強みにできます。

## 仙北エリア

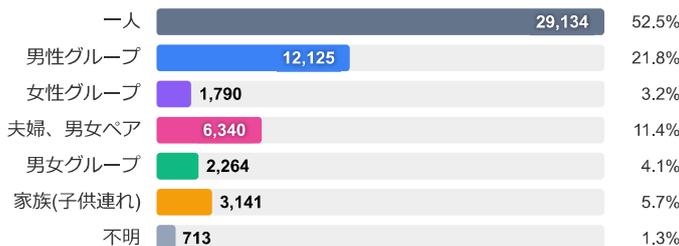


総宿泊者数: 10,094人

### 一〇メモ

「夫婦・ペア」「家族」の割合が高く、理想的な夏休み観光地型です。田沢湖のアクティビティや角館の深緑散策など、夏の思い出作りをサポートする体験プランや、避暑地としての訴求が効果的です。

## 横手エリア

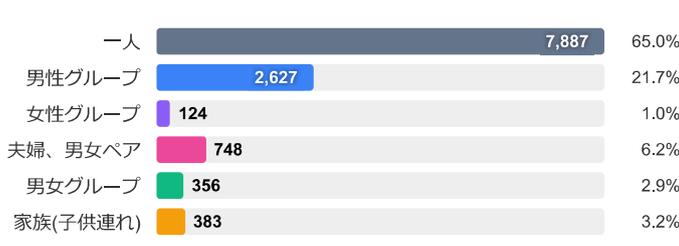


総宿泊者数: 55,507人

### 一〇メモ

「一人」利用が約3万人と突出しており、県南のビジネス拠点機能が伺えます。一方で「男性G」「夫婦」も多く、増田のまんが美術館や夏祭り需要も混在。幅広い客層に対応できる多目的なプランニングが必要です。

## 湯沢・雄勝エリア

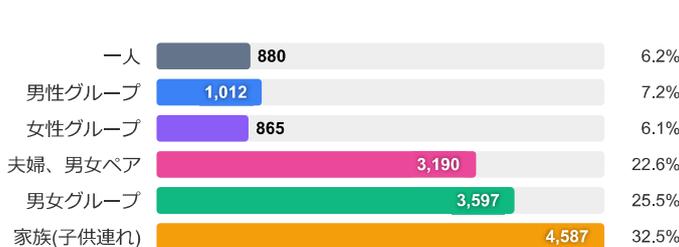


総宿泊者数: 12,125人

### 一〇メモ

「一人」利用が主体です。七夕絵どうろうまつりや西馬音内盆踊りなど、夏の伝統行事期間の集客が期待されます。ソロ旅向けに地酒の飲み比べや稲庭うどんを少量から楽しめるセットプラン等が有効です。

## 由利・にかほエリア



総宿泊者数: 14,131人

### 一〇メモ

「家族」「男女グループ」の構成比が高く、象潟海水浴場や鳥海山登山、キャンプなどの夏レジャー需要が顕著です。ファミリー特典（花火、子供料理）や、グループ向けBBQプラン等が強力な誘客材料になります。

## データ提供やその他の分析に関するお問合せ先

参加宿泊事業者が直接利用できない「旅行者データ分析システム」と「広域データ分析システム」のデータ提供依頼や、「宿泊データ分析システム」のデータの見方やその他の分析手法に関しては、下表のとおり各宿泊施設の所在する市町村に応じて、秋田県観光連盟や各観光地域づくり法人（DMO）にお問い合わせください。

施設の所在する市町村	連絡先
鹿角市・小坂町	株式会社かづの観光物産公社 DMO推進室 (地域連携DMO) ✉ kazunodmo@k-dmo.co.jp ☎ 0186-22-0520
大館市・北秋田市・上小阿仁村・小坂町	一般社団法人秋田犬ツーリズム (地域連携DMO) ✉ info@visitakita.com ☎ 070-2020-3085
能代市・藤里町・三種町・八峰町	一般社団法人あきた白神ツーリズム (地域連携DMO) ✉ akita-shirakami@as-t.jp ☎ 0185-74-7115
男鹿市	株式会社おが地域振興公社 DMO推進室 (地域DMO) ✉ i.suzuki@namahage.co.jp ☎ 0185-47-7150
秋田市・潟上市・大潟村・八郎潟町・五城目町・井川町	一般社団法人秋田県観光連盟 (地域連携DMO) ✉ info@akita-kanko.com ☎ 018-860-2270
大仙市・美郷町	一般社団法人秋田県観光連盟 (地域連携DMO) ✉ info@akita-kanko.com ☎ 018-860-2270
仙北市	一般社団法人田沢湖・角館観光協会 (地域DMO) ✉ info@tazawako-kakunodate.com ☎ 0187-42-8280
横手市	一般社団法人横手市観光推進機構 (地域DMO) ✉ info@yokote-kankou.jp ☎ 0182-38-8652
湯沢市・羽後町・東成瀬村	一般社団法人秋田県観光連盟 (地域連携DMO) ✉ info@akita-kanko.com ☎ 018-860-2270
由利本荘市・にかほ市	一般社団法人秋田県観光連盟 (地域連携DMO) ✉ info@akita-kanko.com ☎ 018-860-2270